

鳥取大学研究設備・機器共用方針

令和5年6月29日
学 長 裁 定

鳥取大学は「知と実践の融合」の基本理念のもと、次の3つの目標を掲げている。

- (1) 社会の中核となり得る教養豊かな人材の育成
- (2) 地球規模及び社会的課題の解決に向けた先端的研究の推進
- (3) 国際・地域社会への貢献及び地域との融合

これらの目標を達成するため、基礎研究のみならず実践研究に欠かすことのできない研究設備・機器を以下の方針により整備・運用する。

1. 経営戦略に基づく整備

研究設備・機器を本学の重要な経営資源のひとつと捉え、本学のビジョンや理念、中期目標・中期計画の実現に向け、設備・機器の現状を把握・分析の上、「戦略的設備整備・運用計画」を策定し、中長期的な展望を見据えながら戦略的・計画的に整備・運用する。

2. 研究設備・機器の共用

研究設備・機器は共用を原則とする。さらに、可能な限り学外からも共用できるものとし、「とっとりイノベーションファシリティネットワーク(TIFNet)」等の学外連携を推進する。

3. 多様なプロフェッショナルの協働による共用推進

役員のリーダーシップの下、研究者、技術職員、事務職員、URA 等が連携して研究設備・機器の共用を推進する。さらに、共用を支える技術職員等の技能向上及び技術継承を推進する。

4. 整備、共用に係る経費

多様な財源を活用することにより研究設備・機器を整備する。また、維持経費等の共用に係る経費は利用者負担を原則とする。

以上